

令和6年度第1回東松島市総合教育会議

日 時 令和6月8月22日（木）

午後3時から

場 所 東松島市役所301会議室

次 第

1 開会

2 あいさつ 東松島市長 渥 美 巖

3 議題

（1）報告事項

- ①学校プールの利用状況について
- ②中総体・吹奏楽コンクールの結果について
- ③教育支援センターの現況について
- ④朗読・暗唱読本の作成について

（2）協議事項

- ①全国学力・学習状況調査並びに全国標準学力テストの結果と本市の学力向上取組について
- ②目指す「15歳の姿」を共有した取組について

（3）その他

4 閉会あいさつ 東松島市教育委員会教育長 志小田 美弘

5 閉会

出席者名簿

No.	役 職 名	氏 名
1	市 長	渥 美 巖
2	教 育 長	志小田 美 弘
3	教 育 委 員 (教育長職務代理者)	木 村 和 彦
4	教 育 委 員	福 田 ゆかり
5	教 育 委 員	鹿 野 あい子
6	教 育 委 員	松 岡 勝 久

【教育委員会部局】

No.	役 職 名	氏 名
1	教育部長	山 縣 健
2	学校教育管理監	渥 美 眞佐男
3	教育総務課長	樋 熊 利 将
4	生涯学習課長	五ノ井 勝 浩
5	教育総務課指導主事	小 山 晴 美
6	教育総務課指導主事	前 田 尊 央
7	教育総務課長補佐	千 葉 純 一
8	教育総務課教育総務係長	菅 原 小百合
9	教育総務課学校教育指導員	青 山 博 之

【市長部局】

No.	役 職 名	氏 名
1	副市長	八 木 哲 也
2	総務部長	勝 又 啓 普
3	総務課長	奥 田 和 朗
4	総務課長補佐	木 村 薫
5	総務課市長公室長	柴 田 やす子
6	総務課市長公室長補佐兼秘書広報係長	山 田 美佐子

学校プールの利用状況について

学校名	利用日数		開放期間（土日除く）
矢本東小学校	授業期間	17日	6月17日～7月19日（24日間）
	夏季休業期間	8日	7月22日～8月2日（10日間）
	計	25日	
大曲小学校	授業期間	12日	6月25日～7月19日（18日間）
	夏季休業期間	6日	7月22日～7月31日（8日間）
	計	18日	
赤井小学校	授業期間	8日	6月12日～7月19日（27日間）
	夏季休業期間	5日	7月22日～7月31日（8日間）
	計	13日	
大塩小学校	授業期間	13日	6月13日～7月19日（26日間）
	夏季休業期間	7日	7月22日～7月31日（8日間）
	計	20日	
矢本西小学校	授業期間	23日	6月3日～7月19日（34日間）
	夏季休業期間	5日	7月22日～7月31日（8日間）
	計	28日	
赤井南小学校	授業期間	20日	6月17日～7月19日（24日間）
	夏季休業期間	5日	7月22日～7月31日（8日間）
	計	25日	
鳴瀬桜華小学校	授業期間	20日	6月17日～7月19日（24日間）
	夏季休業期間	8日	7月22日～7月31日（8日間）
	計	28日	
宮野森小学校	授業期間	9日	6月24日～7月19日（19日間）
	夏季休業期間	1日	7月22日～7月31日（8日間）
	計	10日	
矢本第一中学校	授業期間	8日	6月5日～7月19日（32日間）
	夏季休業期間	4日	7月22日～7月31日（8日間）
	計	12日	
矢本第二中学校	授業期間	16日	6月17日～7月19日（24日間）
	夏季休業期間	4日	7月22日～7月31日（8日間）
	計	20日	
鳴瀬未来中学校	授業期間	6日	7月5日～7月19日（10日間）
	夏季休業期間	6日	7月22日～8月2日（10日間）
	計	12日	

令和6年度中総体・吹奏楽コンクール 東松島市内中学校結果

種目		県大会出場校・出場者	県大会入賞	東北大会	全国大会
ソフトテニス 男子	団体	第2位 一中			
	個人	第3位 鎌田・小松ペア (一中) 横山・齋藤ペア (二中)			
ソフトテニス 女子	団体	第3位 一中			
	個人	第3位 阿部・櫻井ペア (一中)			
バレーボール	女子	第2位 一中			
バスケットボール	男子	第1位 二中			
卓球男子	個人	ベスト8 平舘 樹 (一中) ベスト16 佐藤禮音 (一中) 平井琉馬 (一中)			
卓球女子	個人	ベスト16 鈴木千穂 (未来中)			
柔道男子	団体	第1位 一中			
	個人	50kg 級第1位 後藤健介 (一中)	第3位	○	
		55kg 級第1位 渥美天翔 (一中)			
		90kg 級 亀山修颯 (一中) 90kg 超級 木村琉雅 (一中)	第3位 第5位	○	
柔道女子	個人	第1位 安倍帆南 (二中)			
剣道男子	団体	第2位 未来中 第3位 一中			
	個人	第1位 鈴木悠生 (未来中)	第3位	○	
剣道女子	団体	第1位 一中 第3位 二中	第5位		
	個人	第2位 高橋琴音 (一中)	第3位	○	
		第3位 植木リノ (一中) 第3位 尾崎希良 (二中)			
バドミントン男子	シングルス	第1位 高須賀颯人 (二中)			
水泳男子	50m 自由形	第1位 藤原慧久 (二中) 第3位 石山遥真 (一中)	第5位		
	100m 自由形	第3位 石山遥真 (一中) 氏家惇仁 (一中) 標準記録突破			
	100m 平泳ぎ	第1位 藤原慧久 (二中)	第7位		
	200m メドレー	第1位 畠山 歩 (二中)	第4位		
	400m メドレー	第1位 畠山 歩 (二中)	第3位	○	
水泳女子	50m 自由形	第2位 伊藤花音 (一中)			
	100m 自由形	第2位 伊藤花音 (一中)			

種目		県大会出場校・出場者	県大会入賞	東北大会	全国大会
陸上男子	110mH	第 4 位 松川風太（一中）	第 5 位		
	1 年 100m	第 5 位 中塩太智（二中）			
	2 年 100m	第 2 位 三浦暖斗（一中）			
	3 年 100m	第 5 位 歌川詩音（一中）			
	200m	第 1 位 熊谷拓人（一中） 第 3 位 尾形凌輔（未来中） 第 4 位 牧瀬悠生（二中）	第 7 位		
	400m	第 5 位 鈴木煌大（二中）			
	800m	阿部陽真（二中）標準記録突破 第 2 位 濱田琉星（一中）			○
	1 年 1500m	第 2 位 齊藤龍馬（二中） 第 3 位 今野晴太（一中）			
	2・3 年 1500m	第 1 位 阿部陽真（二中）※大会新 第 2 位 奥田真紗輝（二中） 第 3 位 佐藤柊那（一中） 第 5 位 佐々木理空（一中）	第 1 位	○	
	3000m	第 3 位 酒井瑛太（一中） 第 5 位 鈴木遼平（二中）			
	走幅跳	第 1 位 庄子奏生（一中）	第 8 位		
	4×100mR	第 1 位 一中			
陸上女子	2 年 100m	第 4 位 今野心珠（二中）			
	100mH	第 2 位 白岩里彩（一中）			
	200m	第 3 位 太田実怜（未来中） 第 4 位 田中杏南（二中）			
	800m	第 1 位 齋藤陽菜美（二中） 第 3 位 氏家比呂（一中）			
	1 年 1500m	第 3 位 関野咲来（一中）			
	2・3 年 1500m	第 4 位 関野結来（一中）			
	四種競技	第 1 位 尾形柑南（一中）	第 4 位	○	
	低 4×100mR	第 3 位 一中			
	4×100mR	第 2 位 一中			
駅伝男子		第 1 位 二中 第 2 位 一中	10/2		
吹奏楽コンクール		金賞 二中	8/3・4		

令和6年度 東松島市教育支援センター「ひがまつBASE」について

1 設置目的

学校生活に困難を抱える児童・生徒の学校外における居場所づくりと学びの場の確保、学校復帰を含む社会的自立に向けた相談体制の充実を図ることを目的とし、矢本駅前にあった「子どもの心のケアハウス」を発展させる形で令和5年4月1日に旧蔵しっくパークに設置された。

2 職員等

- ・所長兼スーパーバイザー1名(週5日) ・学び指導員3名(週2日)
- ・学び指導補助員1名(週4日) ・心のケア相談員1名(週1日)
- ・不登校相談員3名(各中学校に1名 週3日) ・学校巡回相談員2名(週4日)
- ※その他 ・県けやき支援員1名(週1日) ・学生ボランティア(月1名・水2名・金1名)

3 児童生徒活動状況(R6.7 月末現在)

(1)通所者 18名(今年度12名利用)

- ①小学生 6名(3年生1人, 4年生2人, 5年生1人, 6年生2人)※内:復帰扱い2名
- ②中学生12名(1年生1人, 2年生6人, 3年生5人)

(2)通所実績(4～7月180回)※1人1日で1回とカウント

- ・4月:20回 ・5月:48回 ・6月:48回 ・7月:71回

(3)通所時の主な活動

- ①【心のサポート】近況・健康状態・心境についての情報収集と声掛け
- ②【学びサポート】各自の計画に沿った自主学習の支援
- ③【自立サポート】同年代・異年齢・大人との関わり活動(カードゲーム, 卓球など)による社会性の育成

(4)その他の活動

- ①畑作業:花や夏野菜の栽培(水やり, 雑草取り, 収穫等)
- ②マンガ・イラスト教室 6月13日(木)
 - ・プロの漫画家(Kanco さん)によるイラスト講座
- ③BASEカフェ 6月18日(火)(年4回予定)
 - ・保護者対象の子育て悩み相談 2人参加
- ④夏休みBBQを楽しもう 7月24日(水)
 - ・通所生とその家族、支援センター職員、教員等 約30人参加
- ⑤いも煮会:松島自然の家で10月23日実施予定



4 移転の効果

○敷地・建物内が広がった。

- ・個別の学習スペースを増やすことができたほか、新たに設置したピアノに親しむ生徒が見られるなど、これまで以上に個に応じた対応が可能となった。
- ・研修会等、多目的に使える「蔵」や、個別相談可能な部屋が確保され、使い勝手が大幅に良くなった。
- ・縄跳びやバドミントンなどの軽運動ができるようになり、整備した畑での栽培活動も可能になった。
- ・駐車場が確保され、教員等が気軽に訪問できるようになった。

朗誦・暗唱読本の作成について

1. 東松島市朗誦暗唱読本の活用の目的

児童生徒が古文・漢文・詩等のすぐれた文学作品の朗誦暗唱をとおして、言語文化に親しみ、言語感覚を養い、豊かな感性を培うとともに、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かす。

2. 冊子概要（案）

- ①小1～中3まで、100程度の名文・詩等に出会えるようなもの → 知的文化財産の蓄積
- ②古典（文語文）をそれぞれの段階に入れる → 知的財産の蓄積
- ③小学校低学年・中学年・高学年・中学校という構成 → 発達段階＋家庭
- ④市民憲章・所属する小中学校の校歌を入れる → 本市で育った子供が読むもの

3. 活用方法（案）

- ①朝読書・朝の会
- ②校内放送
- ③工夫した暗唱を校内で発表
- ④ファミリー読書とリンクした親子朗誦暗唱
- ⑤市図書館とのコラボレーション
- ⑥コンテスト

4. 配布計画

R7年4月に配布

5. 編集委員

- ・総括 矢本東小学校 相沢進校長
- ・編集委員長 鳴瀬未来中学校 宍戸雅治校長
- ・編集委員 各校から1名

全国学力・学習状況調査並びに全国標準学力テストの結果と本市の学力向上の取組について

東松島市総合教育会議 2024.8.22

1. R6全国学力・学習状況調査の結果

小学校の正答率(%)			
教科	本市	宮城県	全国
国語	64	65	68
		差 -1	差 -4
算数	57	57	63
		差 0	差 -6

小学校の正答数(問)			
教科・問題数	本市	宮城県	全国
国語 14問	9. 0	9. 1	9. 5
		差 -0. 1	差 -0. 4
算数 16問	9. 1	9. 2	10. 1
		差 -0. 1	差 -1. 0

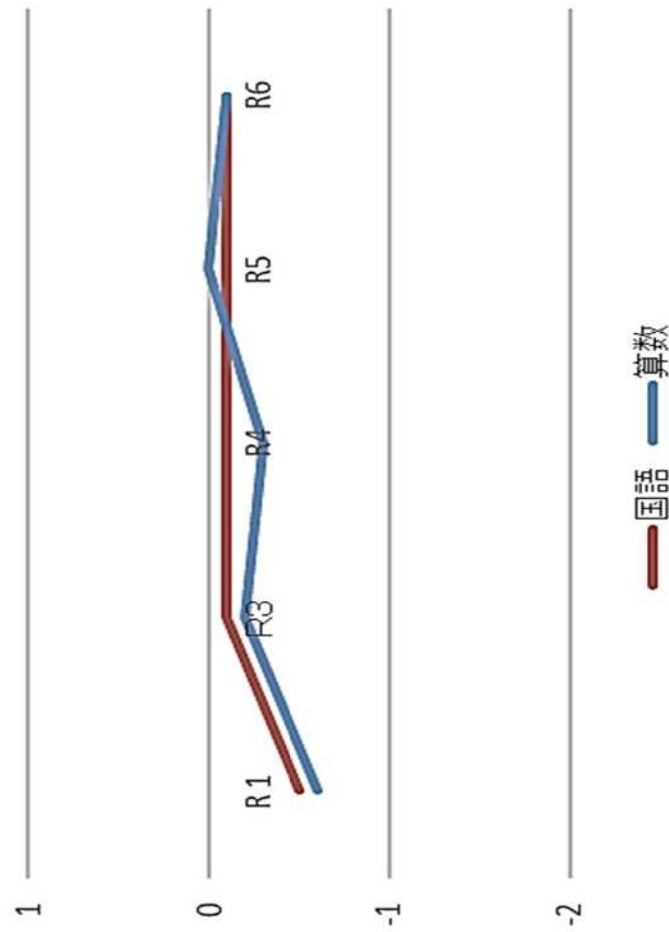
1. R6全国学力・学習状況調査の結果

中学校の正答率(%)			
教科	本市	宮城県	全国
国語	54	55	58
		差 -1	差 -4
		46	53
数学	46	0	-7
		差	差
中学校の正答数(問)			
教科・問題数	本市	宮城県	全国
国語 15問	8.1	8.2	8.7
		差 -0.1	差 -0.6
数学 16問	7.4	7.4	8.4
		差 0	差 -1.0

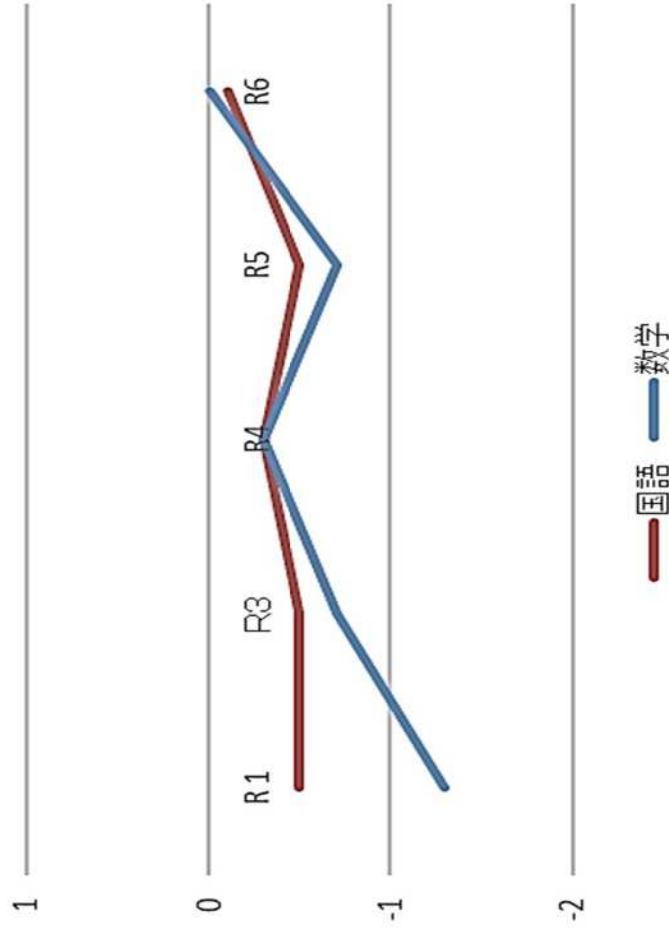
R6において小学国語・算数、中学国語・数学ともに、ほぼ宮城県平均と同程度の数値となった。

2. R6全国学力・学習状況調査の経年変化

小学6年の正答数 県との経年比較



中学3年の正答数 県との経年比較



差が縮まる形で推移してきている。

3. R6全国学力・学習状況調査における無解答率

無解答率の比較		
教科	全国と本市との比較	宮城県と本市との比較
小学国語(14問中)	+12	+10
小学算数(16問中)	+7	+10
中学国語(15問中)	+9	+8
中学数学(16問中)	+4	+5

粘り強く学習に取り組む姿勢が見られる。

4. 本市が実施する全国標準学力調査(4月・12月の結果)

(1)「達成率」から見る本市児童生徒の実態

達成率＝その時点で習得していなければならない学力に
達している割合

小学校の評定：3段階の2・3

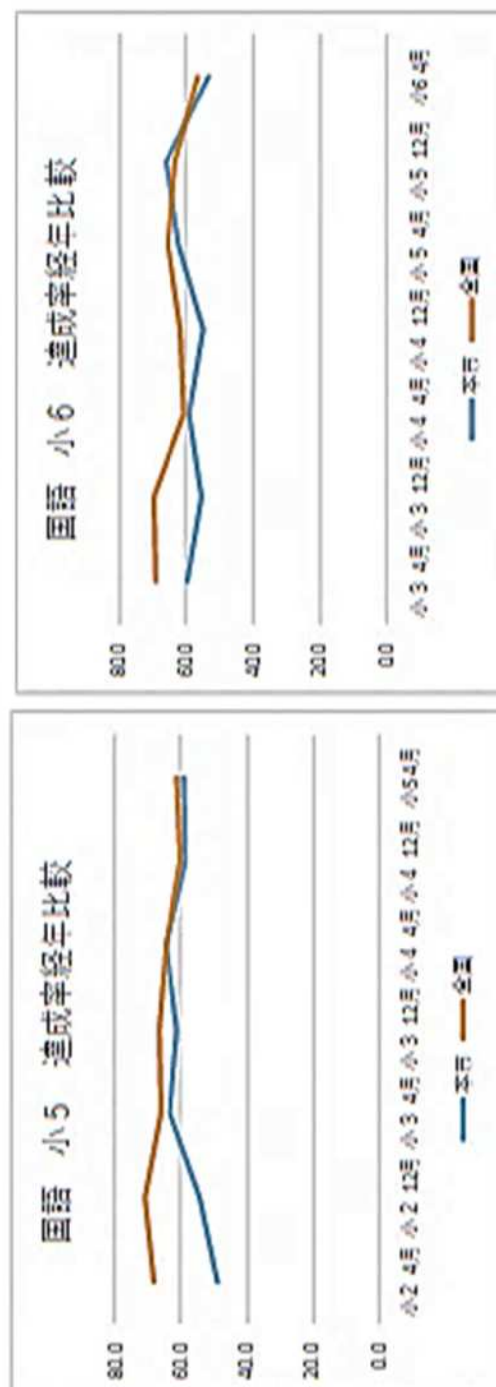
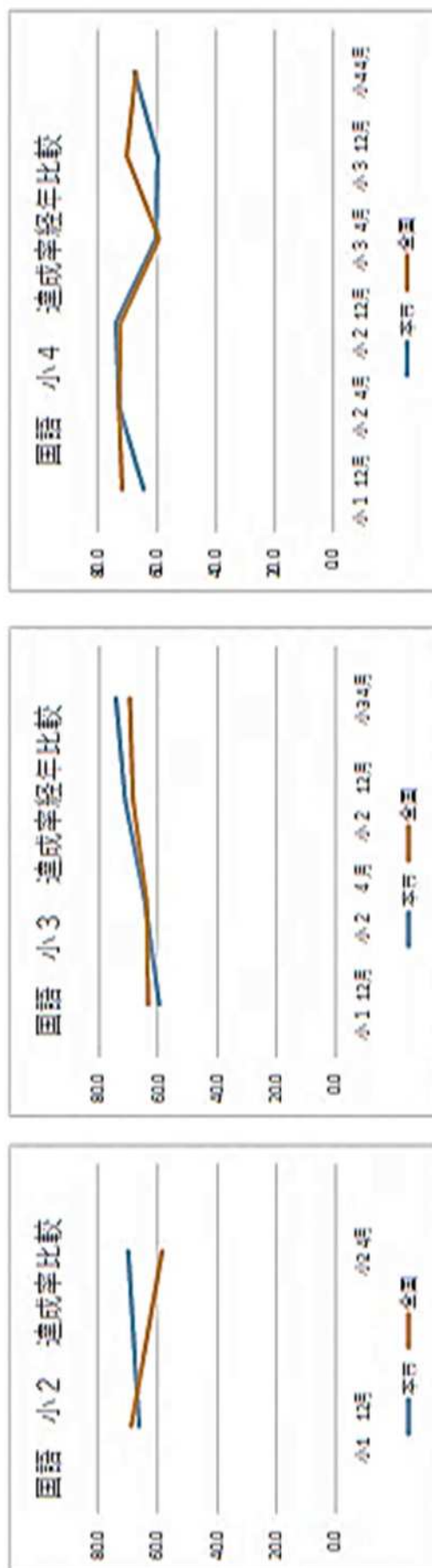
中学校の評定：5段階の3・4・5



4. 本市が実施する全国標準学力調査(4月・12月の結果)

(2) 小学校における達成率の経年変化

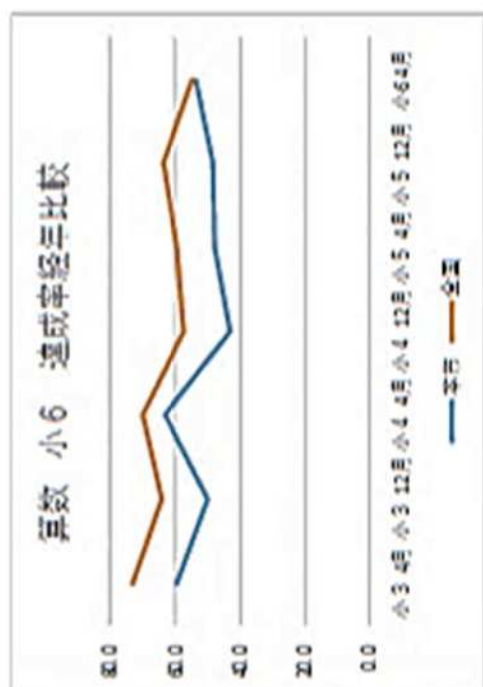
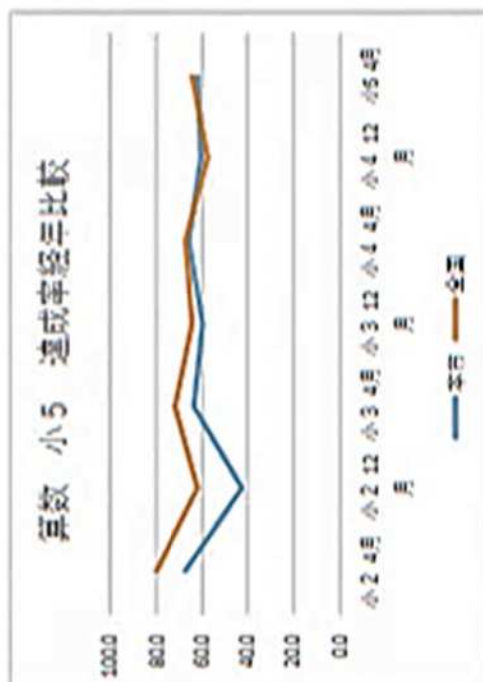
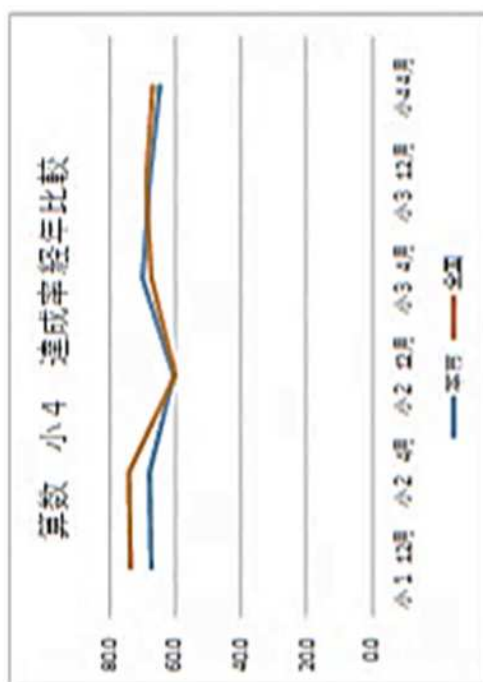
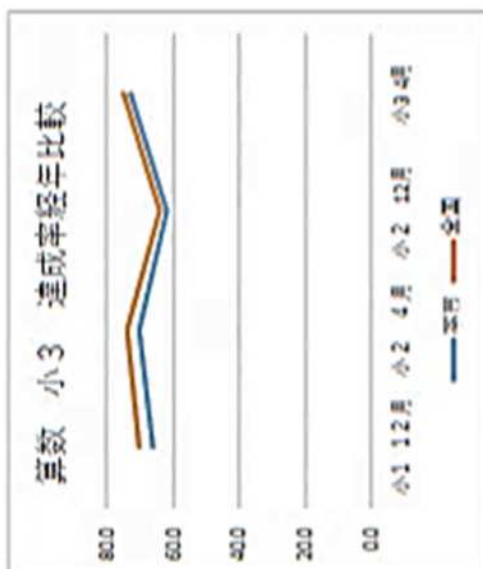
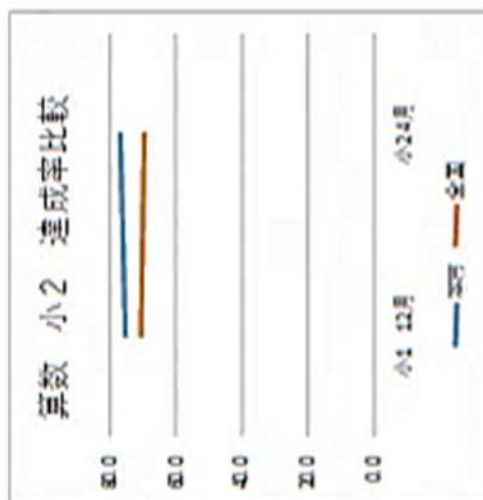
【国語】



4. 本市が実施する全国標準学力調査(4月・12月の結果)

(2) 小学校における達成率の経年変化

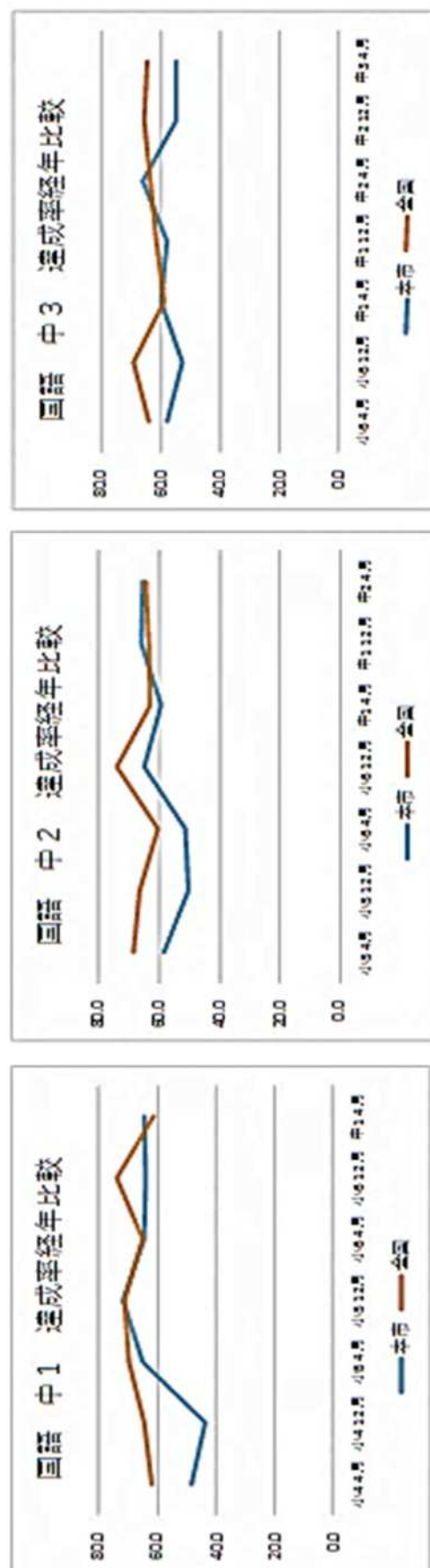
【算数】



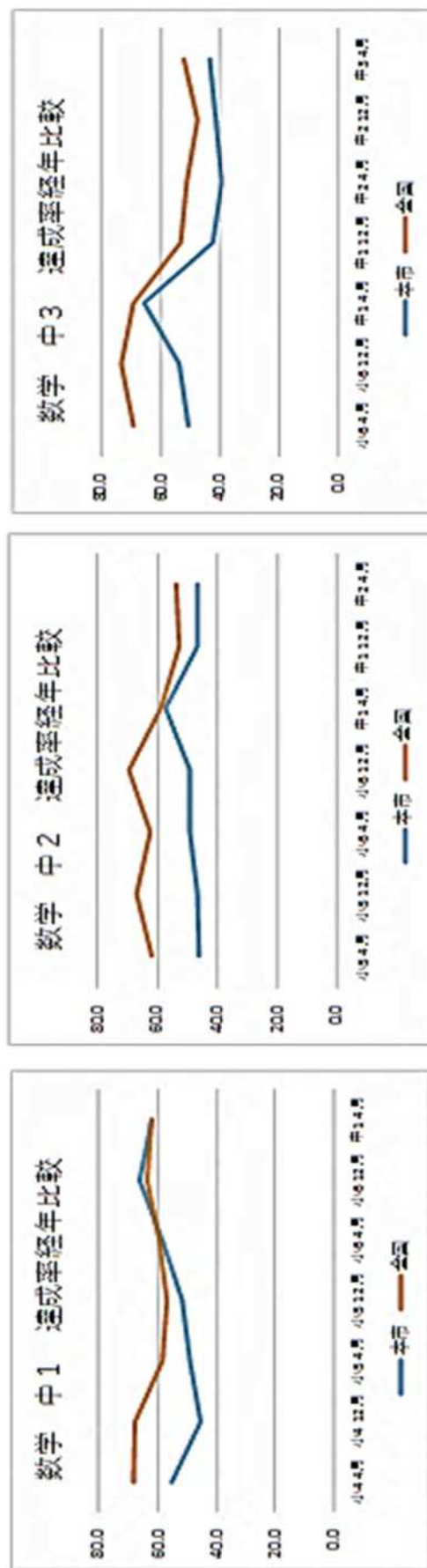
4. 本市が実施する全国標準学力調査(4月・12月の結果)

(3) 中学校における達成率の経年変化

【国語】



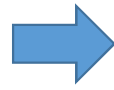
【数学】



4. 本市が実施する全国標準学力調査(4月・12月の結果)

(4)「主体的な学習態度の結果」から見る本市児童生徒の実態

「主体的な学習態度の結果」から読み取りたい児童生徒の力



学びに向かう力

粘り強く課題に取り組む力

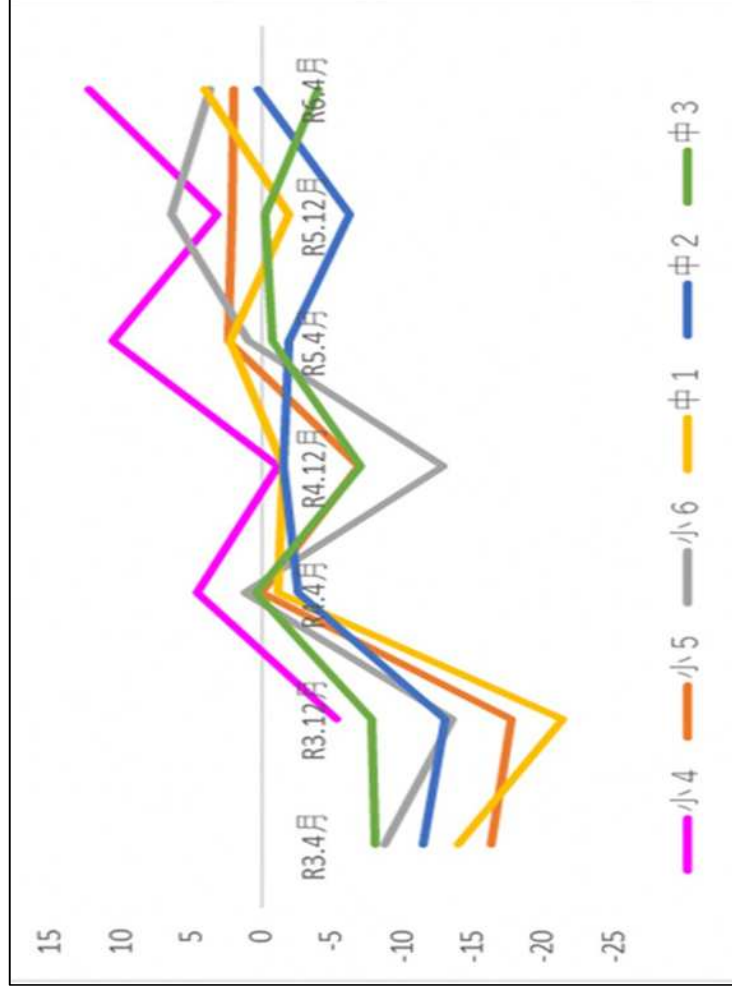
見通しを持って学習を調整する力

自分の考えを表現しようとする力 等

4. 本市が実施する全国標準学力調査(4月・12月の結果)

(5) 同一集団の「主体的な学習態度の結果」の全国との差(経年変化)

国語



算数・数学



全国学力・学習状況調査の無解答率の低さにつながっている。

5. まとめ

(1)本市の取組の成果と課題

○同一集団の経年比較で、ほとんどの学年で達成率が向上
 ➡学習内容を身に付けている児童生徒の増加

○主体的な学習態度の向上

○無回答率の少なさ

 ➡粘り強く学習に取り組む姿勢向上

△題意を捉え、的確に解答する力の育成



5. まとめ

(2) 今後の学力向上施策

「ひがまつスタイル」の継続・推進

- 学力保障のR-PDCAサイクルによる個に応じた指導
 - 「協同的な学び」の授業づくり
 - 家庭と連携した学力の土台づくり 読書・運動
 - 生活を整える取組「でめこん」
- (デジタルメディア・コントロールチャレンジ「東松島ゴール」)

目指す「15歳の姿」を

共有した取組について

＜小中連携教育の取組を通して＞

本市が目指す「15歳の姿」

「故郷に誇りと愛情を持ち、志高く、

協働して未来を切り開く人」

この15歳の姿を全ての学校が共有し、義務教育9年間を見通した指導を充実させるために、市内3中学校区内で小中連携教育に取り組んでいる。

学区内の小中学校が連携を密にすることで、**増加傾向にある不登校児童生徒の減少と、学力の向上を図る**ことを大きな目標とする。

協同的な学びの充実



指導主事学校訪問を生かした授業づくり

小学校や中学校の校種や学区を越えて、一つの授業について教員が深く語り合う姿。他校の良い授業を自分と自校の授業に積極的に生かそうとする真剣な態度。

3つの中学校区をそれぞれ「学園」とする考え

第一学区

(矢本第一中学校、矢本東小学校、大塩小学校、矢本西小学校)

第二学区

(矢本第二中学校、大曲小学校、赤井小学校、赤井南小学校)

未来学区

(鳴瀬未来中学校、鳴瀬桜華小学校、宮野森小学校)

3つの中学校区を「第一学区」「第二学区」「未来学区」と呼称し、施設は分離しているものの、これまで以上に義務教育9年間を見通した「学園としての意識」をもって指導支援にあたることができるよう配慮した。

小中連携教育の特徴的な取組

未来学区（小中連携教育推進モデル地区）の取組

○ 中学0年生プロジェクト

未来学区2小学校の6年生児童が鳴瀬未来中を訪問し、中学校の教科担任から実際に授業を受ける取組。

年間3回の訪問で計6教科の授業を受ける。

○ 加配教員を活用した中学校教員による小学校での教科指導

授業は6年生音楽科（年間50時間・週1～2時間）を担当。中学校教諭の音楽専科指導により、鳴瀬桜華小、宮野森小の6年生担任には週1～2時間の空き時間が生じ、教材研究等の時間確保につながっている。

○ ジョブ・カフェ

児童生徒の職業選択の一助として、学校運営協議会の協力を得て、地域で様々な職業に従事している方々を招いて、職業について知る体験学習。未来中1・2年生と小6児童が参加。

中学校教諭が小学校実技教科の指導（令和6年度～）

（未来中音楽科教諭が鳴瀬桜華・宮野森両小の6年音楽を指導）



子ども未来サミット

7月19日（金）午前 東松島市コミュニティセンターで実施

○ 第1部

心あったかイートころ運動の実践発表

「あいさつ・清掃・ごみ拾い」（心を育む3つの取組）

「デジタルメディア・コントロールチャレンジ

でめこん」（生活を整える1つの実践）

第一学区4校の取組をそれぞれ発表

第二学区・未来学区については、次年度以降発表

子ども未来サミット

○ 第2部

教育講演会「スマホはどこまで脳を壊すか」
東北大学加齢医学研究所 助教 榊 浩平 氏

デジタルメディアの使用と学力の関係について脳科学の分野を専門に研究を行っている同氏の講演を開催した。

スマホやTVゲームを楽しんでいるときは、思考の中枢となる前頭前野は全くと言っていいほど活動していないこと、ながら勉強で3時間勉強するのは、ながら勉強をしないで30分勉強するのとはほぼ同じ程度の学力しか身につかないこと等、貴重なお話をいただいた。

子ども未来サミット

○ 第3部

グループディスカッション（学区別）

テーマ「でめこんがさらに効果をあげるには

どんな取組が効果的か」

各学校や各学区での様々な取組で成果を上げている「でめこん」であるが、でめこんそのものは各家庭での実践であることから、各グループでさらに効果が上がる取組を話し合った。

グループでの話し合いは、中学生が上手にリードしながら、各学校の実態、解決策、これからの取組について話し合った。

子ども未来サミット

○ 第4部

全体会

グループディスカッションの結果を全体で共有

○ 未来サミット初の試み

今回のサミットは夏休み前の開催ということで、代表児童生徒以外は学校に残っていることから、サミットの様子をオンライン配信を行った。対象は原則として小5児童から中3生徒までとした。

子ども未来サミット

オンラインで視聴した児童生徒の感想

